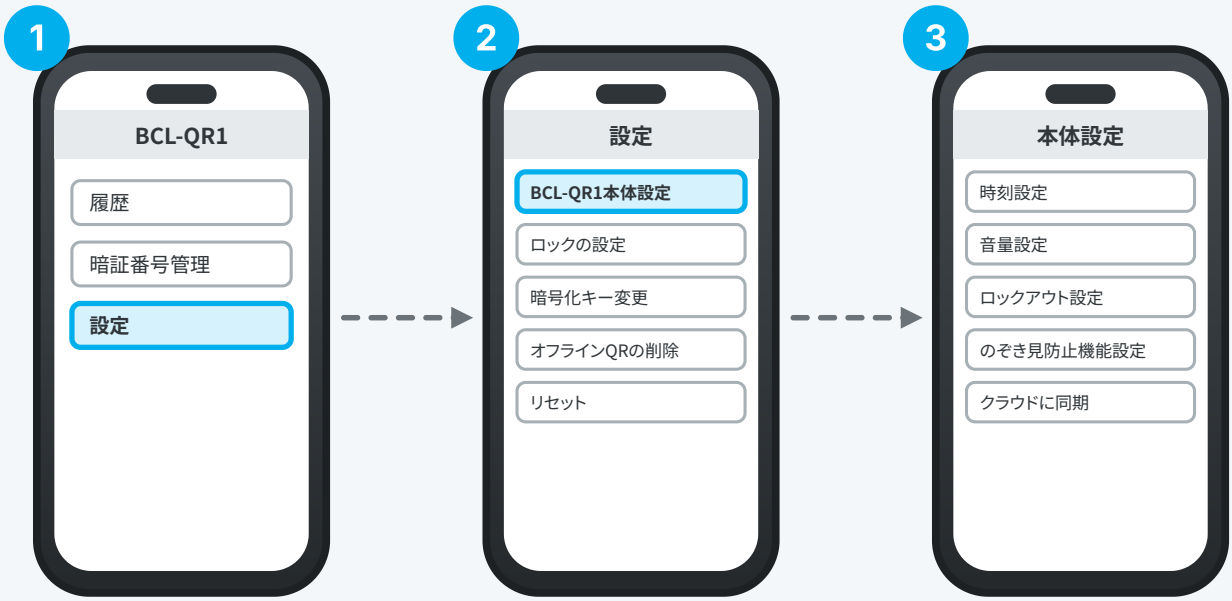


APP SETUP GUIDE

QR1 の本体設定を変える

時刻・音量、ロックアウト、のぞき見防止などの QR1 本体の設定は、KEYVOX Basic で選んで表示した QR コードを本体で読み取って反映します。共通の流れと、設定ごとの内容をまとめています。臨時の暗証番号の登録、暗号化キーの変更、配ったオフライン QR の無効化もここで扱います。

MODELS
BCL-QR1 LE

DOCUMENT NO.
KV-A07

REVISED
2026年11月10日

WEB MANUAL

ABOUT THIS GUIDE

このマニュアルについて

時刻・音量、ロックアウト、のぞき見防止などの QR1 本体の設定は、KEYVOX Basic で選んで表示した QR コードを本体で読み取って反映します。共通の流れと、設定ごとの内容をまとめています。臨時の暗証番号の登録、暗号化キーの変更、配ったオフライン QR の無効化もここで扱います。

アプリ設定　QR1 LE

目安時間

1 項目あたり約5分

用意するもの

- スマートフォン（KEYVOX Basic をインストール済み）

始める前に

- QR1 をアカウントに登録し終えていること
- QR1 の前で作業できること（設定は本体で QR コードを読み取って反映します）

目次

— ご使用上の注意 3
01 共通の流れ（アプリで選ぶ → 本体で読み取る） 4
02 BCL-QR1本体設定の項目 5
03 本体に直接暗証番号を登録する（臨時用） 7
04 暗号化キーを変える（高度な設定） 7
05 配ったオフライン QR を無効にする 8
付録 よくある質問 9

記号の見方

注意 必ず守ること

守らないと、故障・やり直し・思わぬ動作につながることがあります。

補足 知っておくと役立つこと

作業のコツや、状況によって変わる点を説明します。

図の青い部分

作業する人が行う動きと、注目する場所を青で示します。

手順は改良に合わせて更新しています。最新版は表紙の QR コード、または keyvox.co/manuals/qr1-settings からご覧いただけます。

SAFETY & HANDLING

ご使用上の注意

安全に、長くお使いいただくための注意事項です。取り付けの前に必ずお読みください。

警告
守らないと、火災・感電・けがにつながるおそれがあります。

注意
守らないと、故障や、解錠できなくなる原因になります。

お願い
長く安心してお使いいただくために。

警告 安全のために必ず守ること

- 本体・AC アダプターを分解・改造・修理しないでください。
- 付属の AC アダプターと専用ケーブル以外は使わないでください。指定の電圧以外で使うと、発熱・故障の原因になります。
- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。ケーブルを傷つける・無理に曲げる・重いものを載せることも避けてください。
- 煙が出る・異臭がする・異常に熱いときは、すぐに電源（AC アダプター・電池）を外し、サポートへご連絡ください。
- 電気錠・自動ドアの制御盤への配線は、電源を切った状態で、電気工事の知識のある方が行ってください。

注意 非常時の備え

- 電池切れ・停電・通信の不調・故障に備えて、物理鍵などの非常用の解錠手段を必ずご用意ください。物理鍵は室内に置いたままにせず、すぐ取り出せる場所で保管してください。
- 電気錠・自動ドアでは、解錠できなかった場合の解錠方法（非常用の解錠ボタンなど）を、メーカーまたは施工店と相談のうえご用意ください。
- 管理者暗証番号は第三者に知られないように管理し、初期の番号のまま使わないでください。

注意 設置する場所

- 仕様に記載の温度・湿度の範囲で、直射日光が当たらず、結露・氷結しない場所に設置してください。
- BR1・WD1 には防水性能がありません。屋内に設置するか、屋外では防水ボックスに収めてください。
- QR1 LE・BX1 は防水（保護等級5）ですが、水没や高圧洗浄には耐えません。BX1 の防水は扉を閉じた状態に限ります。
- Bluetooth・Wi-Fi は、金属の扉・コンクリートの壁・分電盤などで弱くなります。機器どうしは見通し 2m 以内を目安に設置してください。
- 電子レンジや他の無線機器の近くでは、通信が不安定になることがあります。

注意 電池について

- 新しい単三形アルカリ乾電池を使い、＋と－の向きを確かめて入れてください。
- 新旧の電池、種類やメーカーの違う電池を混ぜて使わないでください。交換するときは全部を同時に替えてください。
- 電池残量の通知が届いたら、早めに交換してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。
- 液漏れした電池には素手で触れず、拭き取ってから新しい電池に交換してください。

お願い 日常のお手入れ

- 汚れは、乾いたやわらかい布か、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。
- シンナー・ベンジン・アルコールなどの溶剤や、研磨剤は使わないでください。表面や文字が傷みます。
- QR コードの読み取り窓とキーパッドは、汚れや水滴が付いたままにしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

お願い ご利用にあたって

- ファームウェアとアプリは最新の状態でお使いください。動作の安定化や不具合の修正が含まれます。
- 機器を譲渡・廃棄するときは、アカウントから機器を削除し、初期化してください。
- 廃棄するときは、電池を取り外し、お住まいの自治体の区分に従ってください。
- 保証の期間と条件は、製品に同梱の保証書をご確認ください。

STEP 01

1 共通の流れ（アプリで選ぶ → 本体で読み取る）

本体の設定はどれも同じ流れです。アプリで変えただけでは本体に反映されません。必ず QR1 本体で QR コードを読み取り、緑の LED を確かめます。

1.1 設定メニューを開く

1. KEYVOX Basic で対象の QR1 の「⋮」を押し、デバイスメニューの「設定」を開きます。
2. 時刻・音量・ロックアウト・のぞき見防止・クラウドへの同期は「BCL-QR1本体設定」の中にあります。
3. 「暗号化キー変更」と「オフラインQRの削除」は「設定」の一覧に、「暗証番号管理」はデバイスメニューにあります。



1.2 変えたい内容を選び、QR コードを本体で読み取る

1. 項目を選び、プルダウンなどで新しい内容を選びます。画面を開いたときは今の設定が表示されています。
2. 表示された設定用の QR コードを、QR1 本体のカメラにかざします。読み取りにくい場合は、QR コードの右下のアイコンで拡大できます。
3. QR1 の緑の LED が点いたら「次へ(緑LEDが点灯した)」を押し、完了の表示が出たら「完了する」を押します。



> ⚠ **注意** 緑の LED が点く前に「次へ」を押さないでください。アプリには設定が保存されますが、QR1 本体には反映されません。赤の LED が点いた場合は設定できていないので、QR コードの読み取りからやり直します。

STEP 02

2 BCL-QR1本体設定の項目

どの項目も、上の共通の流れで反映します。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN 時刻・音量

2.A1 時刻を合わせる

「時刻設定」で本体の時刻を指定します。インターネットにつながっている QR1 は、サーバーとの通信で時刻が自動で合うので、通常は変える必要はありません。インターネットを使わない場合は、時計がずれないよう定期的に合わせます。

> **補足** 時計がずれると、期限付きのカギの有効期限の判定に影響することがあります。

2.A2 音量を変える

「音量設定」で、操作音・成功音などの音量を選びます。周りの環境に合わせて決めます。

B PATTERN ロックアウト

2.B1 認証エラーの回数を決める

暗証番号や QR を続けて間違えると、5 分間 QR1 から解錠できない「ロックアウト状態」になります。いたずらや総当たりを防ぐ機能です。「ロックアウト設定」で、ロックアウトになるまでの認証エラーの回数を選びます。

1. 初期設定は 7 回です。
2. 解錠できない時間は 5 分で、変えられません。
3. 「オフ」にするとロックアウトしなくなります。

> **補足** この設定はファームウェアが古いと選べません。項目がない場合は、ファームウェアを最新にしてから設定します。



C PATTERN のぞき見防止

2.C1 のぞき見防止機能をオン・オフにする

正しい暗証番号の前後にダミーの数字を足して入力しても解錠できるようにする機能です。キーパッドに残る指紋や、入力をのぞき見られることから暗証番号を推測されにくくなります。「のぞき見防止機能設定」で「オン」か「オフ」を選びます。

1. ダミーを足すときは、合計 7〜12 桁にします。その中に正しい暗証番号が含まれていれば解錠できます。
2. 合計が 6 桁以下や 13 桁以上では解錠できません（暗証番号だけを入力した場合は解錠できます）。
3. 例: 暗証番号が「123456」の場合、「98123456」（8 桁）は解錠でき、「1234567890123」（13 桁）は解錠できません。



補足 反映できると「のぞき見防止暗証番号を変更しました。」と表示されます。使う人に入力のしかたを伝えておきます。

D PATTERN クラウドに同期

2.D1 本体の設定を管理画面に送る（通常は不要）

「BCL-QR1本体設定をクラウドに同期」を選び、表示された QR コードを本体で読み取ると、本体の設定が KEYVOX 管理画面（BACS）の 設定 ＞ デバイス ＞ 詳細 に反映されます。動作を確かめるための機能で、通常は使う必要はありません。サポートから案内があったときに使います。

補足 カギや暗証番号をすぐに受け取りたいときは、こちらではなく本体の強制同期（解錠キー →「1」→ 解錠キー）を使います。

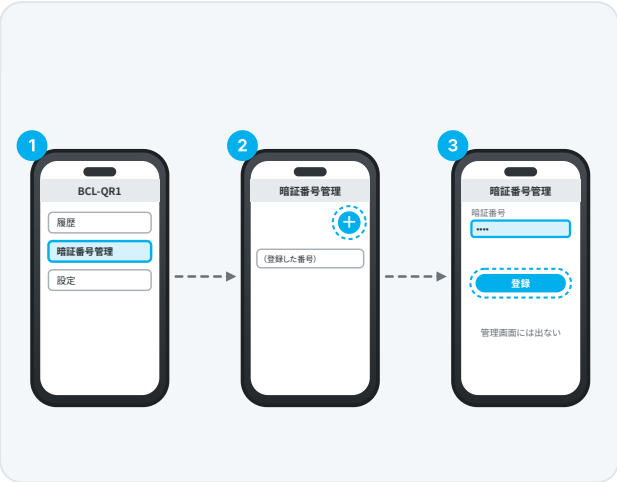


STEP 03

3 本体に直接暗証番号を登録する（臨時用）

3.1 暗証番号管理から登録する

1. 対象の QR1 の「：」を押し、デバイスメニューの「暗証番号管理」を開きます。
2. 「＋」を押します。
3. 登録したい暗証番号を画面の指示に従って入力し、本体に登録します。



> ⚠ **注意** ここで登録した暗証番号は KEYVOX 管理画面（BACS）に反映されず、解錠の履歴も後から確かめられません。管理画面から発行できないときの臨時の手段として使います。

STEP 04

4 暗号化キーを変える（高度な設定）

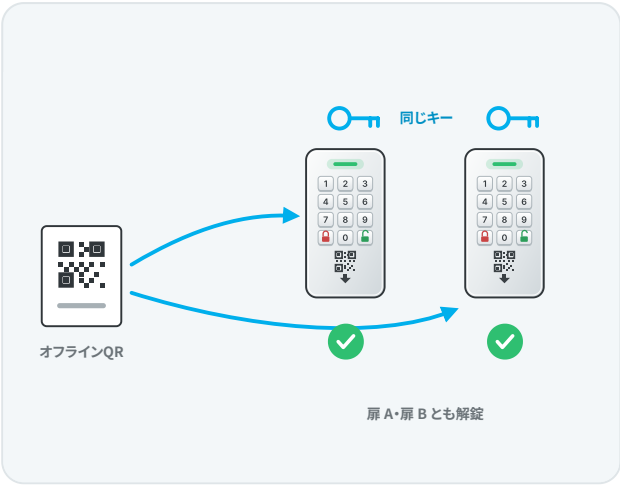
オフライン QR の使い方に影響する設定です。必要なときだけ変えます。

4.1 暗号化キーのしくみを知る

オフライン QR コードは、QR1 本体に登録された「暗号化キー」で計算して作ります。本体とクラウドが同じ暗号化キーを持つので、インターネットで通信しなくても QR1 が正しいカギかを判断できます。暗号化キーは通常、自動で割り当てられ、クラウドにも保存されています。

4.2 複数の QR1 で暗号化キーをそろえる

1. 対象の QR1 の「：」>「設定」>「暗号化キー変更」を開きます。
2. 画面の指示に従って、ほかの QR1 の暗号化キーをコピーしてそろえます。
3. そろえた QR1 どうしは、同じオフライン QR で解錠できます。1 つの部屋に扉が複数ある場合などに使います。



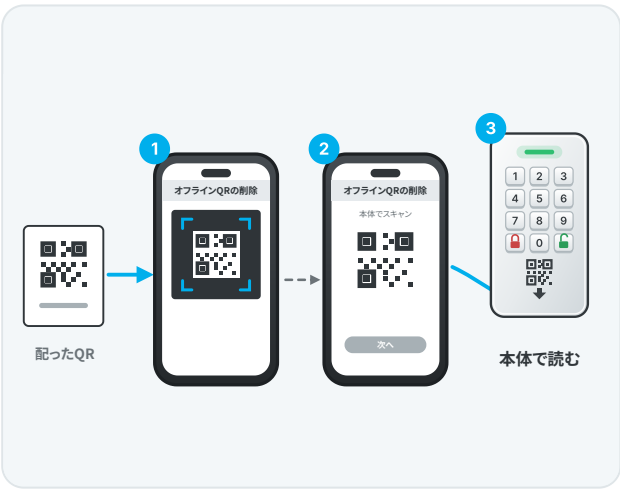
> ⚠ **注意** 暗号化キーが漏れると、第三者がオフライン QR を自由に作れてしまいます。取り扱いに注意してください。暗号化キーを変えると、発行済みのオフライン QR が使えなくなることがあります。

5 STEP 05 配ったオフライン QR を無効にする

管理画面（BACS）で発行したオフライン QR は、配ったあとは取り消せません。どうしても取り消す必要があるときは、アプリから本体に無効化を登録します。

5.1 無効にする QR を読み取り、本体に登録する

1. 対象の QR1 の「：」>「設定」>「オフラインQRの削除」を開きます。
2. 無効にしたいオフライン QR を、アプリのカメラで読み取ります。
3. 表示された無効化設定の QR コードを、QR1 本体のカメラで読み取ります。



> ⚠ **注意** 無効にできるのは 20 個までです。それを超えると、本体のリセットか暗号化キーの変更が必要になり、発行済みのオフライン QR がすべて使えなくなります。無効にした QR は元に戻せません。

APPENDIX — FAQ

よくある質問

このガイドの内容に関わるご質問です。すべての質問は Web 版（keyvox.co/manuals/faq）に掲載しています。

解錠できないとき

Q キーパッドを押しても QR をかざしても、赤い LED が点滅して受け付けません。

続けて認証に失敗したため、不正な解錠を防ぐ「ロックアウト」になっています。初期設定では 7 回続けて間違えるとロックアウトになり、5 分たつと自動で解除されます（5 分という時間は変えられません）。ロックアウトまでの回数は KEYVOX Basic で変更でき、オフにすることもできます。

SUPPORT

手順でわからないことは、
サポートまでご連絡ください。

取り付け後の確認のご依頼や、機器の動作でお困りのときも、サポートポータルからお問い合わせいただけます。

サポートポータル

お問い合わせ・取り付け確認のご依頼

support.keyvox.co

Web 版マニュアル

最新の手順・PDF のダウンロード

keyvox.co/manuals

・本書の内容は改訂日時点のものです。製品の改良により、仕様・画面・手順は予告なく変わることがあります。
・本書の図はイラストです。実際の製品と細部が異なる場合があります。
・記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

keyvox
ブロックチェーンロック株式会社

KV-A07　REV. 2026.11.10
© 2026 ブロックチェーンロック株式会社